

熱帯の有用材 (4)

緒方 健

リンバ (Limba)

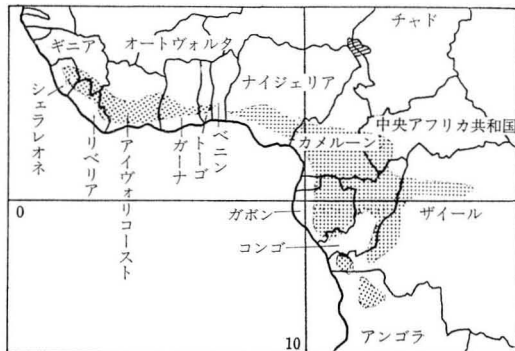
学名: *Terminalia superba* Engl. et Diels (シクンシ科)

リンバは熱帯西アフリカの樹木で、分布図に示したように北はギニア、シエラレオネから南はアンゴラまで、また東へは中央アフリカ共和国、コンゴ、ザイールにまで分布する。半落葉季節風林に最もよく生育し、主要樹種のひとつとなっているが、常緑降雨林にもまた乾燥したサバナ林にもみられる。

リンバというのは元はコンゴの名称で、今では旧フランス植民地の国々に広く用いられる。これに対し、イギリスの植民地であった地域では、ナイジェリア名のアフアラ (Afara) がふつう用いられる。またコートジボワールの名称フラケ (Frake) もよく知られている。そのほかガーナではオフラム (Ofram)、カメルーンではアコム (Akom) という。したがって木材はその輸出地によって名称が異なり、わが国にもこれらさまざまな名で入ってきている。アメリカではコリナ (Korina) の商用名で呼ばれることもある。他に多数の地方名があるが、木材の取引名としては一般的ではない。

樹木の形状: 高さ40~50m、直径1~1.5mに達する高木で、乾季に落葉する。幹は通直、円筒状で、30mの枝下高がある。板根は若い間はあまり認められないが、成木では薄く、鋭く翼状に大きく張り出し、高さ3~6mかそれ以上に発達する。枝は前回とりあげたイディグボと同様に水平に輪生し、層階状をなすが、老木ではこの特徴はややうすれる。樹皮ははじめ灰白色で滑らか、やがて灰褐色になり、浅くたてに

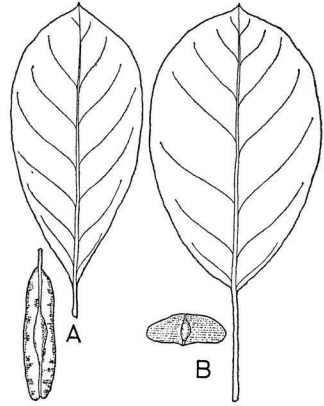
割れ、特徴的な鹿の子状に剥げる。内樹皮は淡黄色。葉は単葉で、枝先に集まって輪生する。葉身は長さ(4~)6~12 (~17) cm、幅2.5~7 cmの楕円形、葉柄は(1.5~)3~5 (~7) cm。花序は長さ7~15 cmの穂状花序で、葉腋に生じ、緑白色の無柄の小花をつける。がくは先が5裂し、裂



OGATA, Ken: Useful Timbers in the Tropics (4) Limba
農林水産省林業試験場木材部

片は高さ約 1.5 mm の三角形，雄ずいは 10，花卉は欠く。果実は翼のある堅果で，中央に 1 個の種子がある。翼は横方向に長く，幅 4~7 cm，高さ 1.5~2.5 cm。リンバはイディグボによく似た樹木であるが，板根が鋭く，大きく発達すること，樹皮が淡色で，鹿の子状に剝げること，葉柄が長いこと，果実の翼が横に長いこと（図参照）などによって区別できる。

リンバは生長の早い陽樹で，しばしば二次林の優占種となるが，また原生林でも単木としてみられる。樹形がすぐれ，木材の用途も広いので，最近では熱帯西アフリカの重要造林樹種のひとつとして各地で用いられている。リベリアで行われている造林法のひとつを簡単に述べると，苗畑において播種後 18 か月で苗は高さ約 2 m に育つ。これを高さ 1 m，直径約 1 cm のところで台切りし，山出しする。植栽間隔は 12×12m



T. ivorensis (A) と *T. superba* (B) の葉 (×1/3) と果実 (×1/4)

(65 本/ha) とする。イディグボのように昆虫の害をうけることはないという。

木材は辺心材の区別がほとんどなく，全体が灰黄色~淡褐黄色を示し，やや灰緑色をおびる。丸太によっては暗灰褐色の偽心をもつことがあり，ときにはウォールナットに似た濃色の美しい縞がはいる。これは Limba Noir または Dark Afara と呼ばれ，淡色の Limba Clair または White Afara と区別されることがある。鉋削面には光沢がある。木口では一般に生長輪が濃淡の縞として認められる。肌目はやや粗，木理は通直か浅く交錯する。気乾比重はかなり個体差があり，0.43~0.60~0.72 で，比重の小さい材は脆心をもつことが多い。顕微鏡的な特徴としては，孤立管孔の接線方向の最大径は 200~250 μm 程度，分布数は 2~5/mm²。放射組織は単列のみで，最大高は 0.7~1.2 mm。軸方向柔組織は翼状~連合翼状で，木口をよく削ってルーペで見ると淡色の組織として認められるが，個体または観察部位により発達度が異なっており，著しい場合には道管から道管へ縞状をなすが，反対に道管の周囲に限られる場合もある。柔組織のところどころに大形の柱状の結晶（柱晶）が存在するのが特徴である。せんい長 1.6~2.0 (~2.3) mm。シリカは含まない。

乾燥性は良好で，短時間で狂いが少なくあがり，乾燥後の寸法安定性は高い。強度は比重によって異なるが，脆心をもつことが多いので，強度部材としての使用には注意が必要である。耐久性は低く，菌，昆虫に犯されやすい。ピンホールも入りやすいので，伐倒後速やかな処置を必要とする。工作は容易で，切削上の困難はなく，塗装性や接着性も良好である。リンバの最も大きい用途は合板であるが，また家具の枠，ひき出し側板，建築の造作用材にも用いられる。ウォールナット様の縞のあるものはつき板にして装飾用材とする。